

第1回仮称浦安市千鳥学校給食センター第三調理場PFI事業 審査委員会記録(要旨)

会議名	第1回仮称浦安市千鳥学校給食センター第三調理場PFI事業審査委員会
開催日時	平成21年5月14日(木) 午前10時~正午
開催場所	浦安市健康センター1階第1会議室
委員総数 (出席委員)	6名(敬称略) 石塚委員長、安登副委員長、登坂委員、藤本委員、鹿野委員
(欠席委員)	佐々木委員
(事務局)	柏木教育総務部次長、近藤課長、青木主幹、藤松課長補佐、大塚副主査

議 題	(1) 委員長及び副委員長の選出について (2) 審査委員会の進め方及び経過報告について (3) 募集資料の審議 ア 募集要項(案)・審査基準(案)について イ 要求水準書(案)について ウ 特定事業契約書(案)・基本協定書(案)について (4) その他
-----	---

配布資料

< 審議資料 >

- 1 仮称浦安市千鳥学校給食センター第三調理場PFI事業審査委員会設置要綱
- 2 審査委員会の進め方
- 3 審査委員会委員名簿
- 4 募集要項(案)・様式集(案)
- 5 要求水準書(案)
- 6 要求水準書(案)資料編
- 7 審査基準(案)
- 8 特定事業契約書(案)
- 9 基本協定書(案)

< 参考資料 >

- 1 仮称浦安市千鳥学校給食センター第三調理場整備運営事業実施

方針概要

- 2 仮称浦安市千鳥学校給食センター第三調理場整備運営事業実施方針
- 3 実施方針への質問に対する回答
- 4 特定事業の選定

会議録（要旨）

（1）委員長及び副委員長の選出について

委員の互選により委員長が石塚委員、副委員長が安登委員となる。

（2）審査委員会の進め方及び経過報告について

委員：全部採点＋合議制方式で良いと思う。各分野を専門とする委員が説明し、専門ではない委員も質問等をしながら認識を共通化すれば良いので、全部採点で良い。率直な議論ができるのであれば合議制でよいと思う。

委員：第1期（既存PFI事業）においてはどのような方式で採点を行ったのか。

事務局：全部採点＋合議制方式で行った。

委員長：他の委員の意見を参考にできることから、合議制の方が幅が広がる。審査委員会の進め方について原案どおりとすることよろしいか。

委員：異議なし。

（3）募集資料の審議

ア 募集要項（案）及び審査基準（案）について

委員：子どもたちの食の安全性が確保できればよい。

委員：運営会社が一番気になるため、しっかりした会社に決まれば良いと思う。

委員：価格点の上限が予定価格の3割引となっており、継続的に安定した運営が重要であると考え、妥当な設定なのか。

委員長：価格を下げると技術評価点（加点評価）が下がる。事業者はトータルでバランスを取りながら提案すると考えられる。加点評価60点と提案価格評価40点のウェイトバランスは第1期と同じである。

委員：無理してコストを下げて参入しようとする事業者は減ってきた。

委員長：審査基準を公表することから、事業者は全体の配点構成を考慮しながらバランスよく提案を行うものとする。

イ 要求水準書（案）について

委員：民間の応募内容と当方の期待する内容に齟齬があると困るため、具体的に示す必要がある。今回は運営管理の配点が高いため、正しく理解してもらう必要がある。

委員：プラットフォームは、食缶の荷受け・配送とは別の場所にする等を明記する必要がある。

委員：ごみ処理方法は、優劣を判断できない恐れがあるため、具体的な要求内容を出した方が良いのではないかと。

事務局：第1期の提案の際に、場外でのごみ発電が提案され、評価した経緯もあり、具体的な内容を明示することを避けた。

委員：運搬・回送業務について、運搬する際の最低限必要な車両数及び作業時間は記載しなくて良いかと。

事務局：提案に委ねたいと考えており、給食時間に間に合わせる点については、契約書でペナルティを規定している。

委員：食器類、食缶等について、箸は入らないのか。

事務局：事前に実施した保護者対象のアンケートで、「従来どおり箸を持参する」に約64%の回答があり、それを反映させた。

ウ 特定事業契約書（案）・基本協定書（案）について

質疑なし。

委員長：委員からの提案に関して事務局で検討し、適宜修正することとし、募集要項、要求水準書、審査基準、特定事業契約書、基本協定書の募集資料全体については、原案どおり承認することで良いかと。

委員：異議なし。

（閉会）